

建築士

おおた

秋季号



 社団法人 大分県建築士会

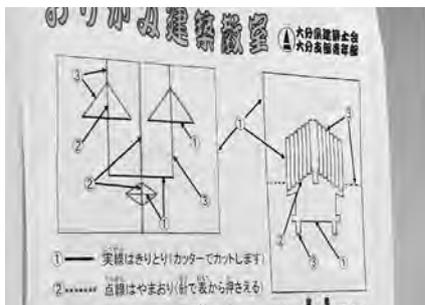
2008 NO 103

CONTENTS

1. 建築士を取り巻く環境に思う	建築士会会長 芳山 憲祐
2. 就任挨拶	建築士会副会長 三重野元良
	常務理事 大塚 文美
3. 建築士の集い	<日田支部>平塚 英利
	<佐伯支部>長田 孝治
6. 連載「福祉と住宅改修」第11回	<津久見支部>大村 正壽
8. 寄稿「日田の水車小屋」	<日田支部>養父 信義
10. 女性部会のPage	<大分支部>下瀬 恵美
12. 特集 おり紙建築	<大分支部>竹宮浩一郎
	<大分支部>廣藤 啓二
	<大分支部>足立 忠明
15. インフォメーション	
～ 日田支部 ～	櫻木弘三郎
～ 竹田支部 ～	伊東 政博
～ 玖珠支部 ～	須賀 文廣
～ 臼杵支部 ～	板井 祐輔
20. おおいた建物発掘隊-臼杵編-	<臼杵支部>赤嶺 竜一
22. シリーズ 登録文化財 No.24 旧耶馬溪鉄道厚ヶ瀬トンネル	<中津支部>山村 増治
23. ちょっととききみみタイム	
24. MY WORK	<大分支部><津久見支部><大分支部><中津支部>
26. 会員紹介	<玖珠支部><別府支部><大分支部><臼杵支部>
28. 行政だより	大分県 建築住宅課
29. 20年度通常総会報告	事務局
31. 新役員名簿	事務局
32. 事務局だより	事務局
34. 新会員紹介	事務局



折り紙建築教室



建築士を取り巻く環境に思う



大分県建築士会会長
芳山 憲祐

平成の建築基準法と建築士法の大きな改正により、建築士を取り巻く社会環境は大きく変化している。これら改正内容を整理してみると、①建築行政の課題が浮き彫りになりこれに対処した確認申請手続きの厳正化や適正化が図られた。②建築士制度の課題が取り上げられ、建築士の業務の適正化と罰則の強化が図られた。③消費者保護の観点から、住宅の売り主などの瑕疵担保責任の履行に関する強化が図られた。

そのなかで建築確認及び検査に関して、一定規模以上の建物に対する構造計算の適合性判定、それに3階以上の共同住宅は中間検査が義務づけられた。

それは、一定規模・一定条件の建物には高度な構造計算の判断を審査するため「構造計算適合性判定制度」、つまり二重チェックを導入するようになり構造設計者にその責任を明確に位置づけ、構造設計一級建築士でなければ設計監理の業務（自ら設計するか法的合格確認をおこなったもの）ができなくなりました。また、同じくして設備の設計監理に関しても一定規模以上（3階建て以上、かつ、床面積5,000㎡を超える建築物）の建物は、設備設計一級建築士（自ら設計するか法的合格確認をおこなったもの）の関与が必要となった。

そして、今までは四号申請では、筋違計算書や金物の計算書は設計者が計算していれば、確認申請書には添付なしだったものが見直しになり添付が必要となった。但し、構造1級建築士が設計した場合のみ省略できるようになった。

この「構造計算適合性判定制度」が表面化し、確認業務が大きく混乱したことは記憶に新しい出来事である。そのため、四号申請では同じような混乱を避けるため、社会へ周知徹底するまで確認申請手続き内容の変更は延期された。

②番については、平成20年11月28日から「改正建築士法」が施行される。

改正の建築士法は、建築士の資質・能力の向上、建築士事務所業務の適性化を図り、いろいろな偽装問題で失われた建築物の安全性や建築士に対する国民の信頼を回復することがねらいとされている。

そのため、建築士の資質・能力の向上に関しては、建築士に3年ごとの定期講習の受講と試験が義務づけられるほか、建築士試験の受験資格が大幅に見直され、学歴要件や実務経験が詳細に規定されている。

設計・工事監理業務の適正化では、管理建築士の要件を強化し、重要事項説明の義務づけや、一括再委託の禁止要件と確認申請時に設計を担当した全ての建築士の氏名を明らかにする記載が義務づけされる。

また、建築士事務所の業務実績と所属建築士の氏名などを毎年県知事に報告し、都道府県知事によるこれらの

書類の情報開示として一般者が閲覧できるよう義務づけられ、このことが建築士及び建築士事務所の登録制度となる。

現在、建築士事務所を開設している人は、3年以内（平成24年3月31日までに）に管理建築士の講習を受講し審査に合格しなければなりません。また、新たに事務所を開設し管理建築士になろうとする人は、建築士事務所3年間の実務経験終えた後、管理建築士の講習を受講し審査を受けて合格すれば管理建築士となる。

③については、建物（住宅）の瑕疵保証に関して平成12年の「住宅の品質確保の促進等に関する法律」で、住宅の売り主（建築請負者）に10年間の瑕疵担保保証責任が義務付けられたが、売り主が倒産した時にこれが履行されず、住宅所有者に混乱をきたすことが起きたので、住宅の売り主などの瑕疵担保責任の履行を確実に行うよう、保険や供託等の資金力確保の処置（特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保に関する法律）が義務付けられる。

法律の施行は、平成21年10月1日から新築住宅を引き渡す場合からになるが、建物の工事には一定の期間が必要なので、工事着手時（契約時の工期により判断）から予定しておく必要がある。また、この保険料や供託金は売り主又は請負業者が払うべきものとされている。

これらの法律が改正されることで、（社）大分県建築士会としては、平成20年11月28日からスタートする新しい建築士制度のうち、建築士の資質・能力の向上に関しては、定期講習会を開催する業務など建築士の登録・閲覧事務の実施にあたり、連合会が指定登録法人制度で中央指定登録機関の認定を受けた場合、一級建築士の登録事務に関する大分県の窓口業務を受託することが決まっている。

登録を必要とする建築士は、新規に一級建築士として登録申請する場合や、任意で携帯型の免許証明書に切り替えを申請する場合、また新たに構造設計一級建築士・設備設計一級建築士として申請をする場合となっている。

建築関連の法律改正がある一方、建築士会の運営に関しましては、新しい公益法人制度が平成20年12月より施行される。

この法改正も「社団法人大分県建築士会」の今後の財政運営上、大事な制度であり十分に検討して取り組む必要がある。

これらの法律改正が行われる前から（社）大分県建築士会においては、CPD制度と専攻建築士制度を導入して取り組んでいる。

建築士で設計監理業務に従事している人は、全体の30～40%でその建築士が関わる業務は非常に幅広い分野にわたり、特にまちづくり（都市計画）での建築士の役割は近年大切な部分と考えられている。

専攻建築士制度の8つの分野は、このような領域を踏まえて現実社会の実態に基づいて分類され、建築士がそれぞれの異なる立場で独自の技術を発揮し、大分県の建築技術の水準を守り育てている。

法律改正に一応の方向性が見えた今、大分県の建築士の将来に向けて建築社会のビジョンを掲げ、専攻建築士制度が社会に定着するよう目指して行きましょう。

副会長就任挨拶



大分県建築士会副会長
三重野 元良

今年度より副会長を引き受けることとなりました臼杵支部の三重野です。臼杵支部長を6期11年勤めて、これではしばらくはのんびり休めるかと思っていた矢先、突然大役をお受けすることになりました。

また今回、建築士会大分本会の広報委員会を初めて担当することになり、編集委員会の各担当者と共に魅力ある「建築士大分」の雑誌発行を含め、広報委員会として最近すっかり下火になっています「建築士の日」のPR活動を再構築して行かなければと思っています。現実には若い会員の中には7月1日がその日だと知らない方が多いと聞いています。広報委員会のみならず、他の委員会と合同で協力立案して推し進めて行かなければと思っています。

広報の役割は本会と各支部会員を結ぶ重要な役割を果たさなければならない使命があります。雑誌発行は、その士会内部に向けたものと見られていましたが、各支部を通じていろいろな施設や機関に配布していくことは、外部に向けての発信が「建築士の日」のPR活動と同じ要素で必要とされる使命感を感じます。

今後とも会員皆様方のご協力を頂きながら本会と共に広報委員会活動の使命感の中にも楽しさと遊び心を忘れず頑張って行きますのでよろしくお願いいたします。

よろしくお願ひします。



常務理事
大塚 文美

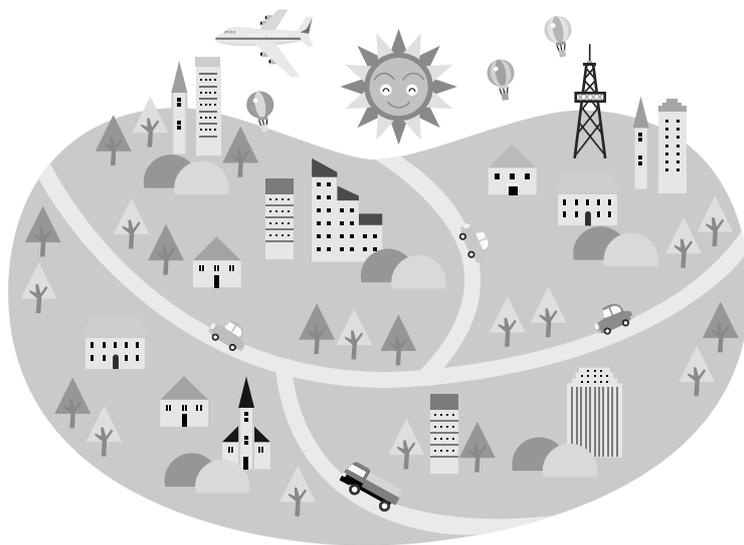
今年度より常務理事として皆さまと共に士会活動に取り組むようになりました大塚です。

さて、建築士会の活動も時代の変革と共に多様化し、時代のニーズに答えるため地域貢献・まちづくり活動センターの創設等、新たな活動の展開も図られています。

また、公益法人改革も予定されており組織的にも抱える課題も少なくないと思います。

さらに士会の一番の目的である建築士の資質向上のための勉強会、意見交換の場づくり等、会員の皆さまの多様なニーズに答えるため、芳山会長のもと会員の皆さまと共に取組んでいきたいと考えています。

よろしくお願ひします。



建築士の集い

沖縄大会

日田

地域実践活動報告を経験して思う

日田支部会員 平塚 英利

去る6月28日、沖縄で行われた、九州ブロック建築士研究会『建築士の集い』沖縄inやんばるに参加して標記の活動報告をした。



そこに至るまでには、実に色々な出来事があった。まず、発表をしてもらおう予定だった養父氏のスケジュールが合わず参加できないことで、本伝会(本物の伝統を守る会と称し、豆田町で活動している技術者組織のこと)の事務局、野村氏が発表者を物色しているとの情報が入った。

話によれば、「本伝会理事長の養父氏が参加できないため発表をお願いしたい」とのことだった。もし都合がつかなければ他をお願いするというので、発表のテーマを聞き「それは俺がやらなきゃ」と感じたが、その時点ではちょうど審議会の資料準備の最中であり、正直なところ都合がつくのかどうか未定の状況だったため、後日予定を確認して返事をするに調整をしてみると、運よく審議会後の1週間は時間がとれるようになった。

早速、野村氏へ参加可能な返答をした。……このときの判断では、2年ほど前に養父氏が発表に使った資料でそのままOKだろうと感じていたのは、後日大変な過ちであることに気が付いてしまうことになる。

いままで、30分や1時間の中である程度話をすることの機会があり、わずか10分程度であり、シナリ

オなんぞは必要ないと、気楽に構えていたことで危うく大変なミスを犯すところだったことに気がついた。長い時間の方が短時間の発表よりもアドリブは利かせやすいし、聞き手ともある程度フレンドリーな関係が出来ることにより話も進めやすいのであるが、短い時間である程度の内容を伝えるのは至難の業であることに気が付いてしまったのである。

返事をした週末に青年部の岐部氏と竹宮氏が、プレ発表会をするということで機材一式を携えて、野村氏のところへやって来た。当初、安易に構えていた私は…そこまでやるか…と、少々なめた考えを持っていたが、二人のまじめな意見や一生懸命な姿勢に自分も引き込まれたというのが本当のところの話だ。

この二人の話や前年のDVDを見て…こいつは下手すると当日大恥をかくことになるぞ…

と感じたことで、以前に使った資料を改竄して使えないかと試行錯誤。2日間でPPデータをいじり、また週末にプレ発表会を開いた。…これは、前年のものに比べれば+α及びアニメーション三昧でOKだろう…と試しにひとりで時間を意識してやってみたが、倍の時間がかかっていることに少々気落ちしてしまった。

プレ発表会の当日、何と日田支部だけではなく各支部からの参加者が来るとのこと、シナリオは作ってはみたものの明らかに時間オーバーなものであり、プレ発表はアドリブでやってみたが、5分程度の超過であった。さらには、参加していただいた他支部の会員からの意見や前年の発表をした穂山氏の助言があり、その時点で使っていたPPデータは使えないと判断して最初からPPデータを作る決心がついたのである。

まず、自分のPCにPPソフトが無い…大型電気店を物色してみると、ソフトは高価であり少々躊躇ったが、娘をダシにして、アカデミックバージョンを手に入れた…それからの3日間は、最新バージョンのPPに慣れないままに一通りシナリオ通りにPPデータを仕上げた。

はたしてそれが、助言を生かしたものになっているかなんて考える暇もゆとりもないままに出発の日となったのは、後年忘れるものではないだろうと感じた。

いざ、日田を発つまでは良かったが岐部氏が言っていた印鑑を忘れたのに気が付いてしまい空港近辺のナ

フコで軽印を買い求め汗だくで空港ロビーに戻ったことも、たぶん忘れないことの一つであろう。…歳をとると忘れっぽくなるのは他人であり、自分ではないと思っていた…。

那覇についたのは、午後の暑い盛りでありまずは観光とばかりに日田からの4人組は街に繰り出した。夕刻そのうちの一人が、会場のある名護市のホテルへ向かい、残った者で那覇を満喫させてもらった。

頭の隅に翌日の発表があったかどうかは…自信がない…。とりあえずシナリオは練習で8分ちょうどと確信していたし、手筈が違えばしゃべりのスピードでカバーするつもりでいた。

翌朝は、朝食もそこそこに車で名護へ向かい打ち合わせとデータの調整を済ませた時点で、いざ本番を待つ気持ちが備わったというか、腹を据えた。

他県の発表者も、雰囲気を確認したり立ち位置とスクリーンの具合等を体を感じようと二度三度とステージで調整をしていたが、それを横目に…さて、オリオンビールの工場見学でもして緊張感を吹き飛ばすか…と、早速乗り込んで試飲を二度して気分はリラックス出来すぎている。

発表の順番を間違えられて、早めの発表となったが時間の感覚は意外とはっきりしていたのを覚えている。すべての発表が終わり審査発表で3位だと知り、意外に自分で感動してしまった…準備が間に合ってよかった…ほっとしたのが本心だったのは間違いない。後の部会別意見交換での地元建築士の意見を聞いてみると、名護には古い町並みは無い！…なるほど戦争の被害を全島に残す沖縄では、遺跡としての文化財や一部の古民家は残っているが、町並みは戦後のものがほとんどであり、逆に日田の町並みが羨ましいというような話も聞かされてしまった。しかし、古民家の点にはたしかにあるのでまだ希望はあると感じたし、今であればまだ、当時の記憶が残っている人もいるはずであり、間に合うのではないかと…これはある伝建地区の担当者が言っていた言葉だが、実際の建物の調査で得るデータだけが痕跡ではない家主の記憶も痕跡の資料としたい…と、言っていたのを思い出してしまった。

夕刻からの懇親会はもちろん心底楽しませてもらったし、嬉しいことに大分大学の井上先生がテーマから考えても日田のものが1位だと私に言ってくれたのは最高の褒め言葉だとありがたく受け取らせていただいた。

さらには、メイン司会をしていた地元建築士会員の二人が、呼び出し順を間違えたことの詫びをワザワザ言いに来てくれたことで、さらなる感動を覚えたのは言うまでもない。

九州の建築士会は、こういう付き合いができていれば、どこぞの建築士のような過ちを犯す人は少ないのではないかと感じている。

今回私の発表にいろいろな助言や準備をしていただいた大分県建築士会各支部の方々に感謝の気持ちをこめてお礼を言わせていただきます。

いろいろとお世話とご心配をかけてしまいました。本当にありがとうございました。



建築士の集い

沖縄大会

佐伯

九州ブロック「建築士の集い」 沖縄大会inやんばるに参加して

佐伯支部 長田 孝治

大会前日より沖縄入りして、その日は南部エリアの観光(旧海軍指令部壕、斎場御嶽等)そして、国際通りにて食事・買い物。その後、那覇の夜を満喫し、那覇市内に一泊。大会当日は開会時間まで美ら海水族館に行き、ジンベイザメに対面した後、メインである名護市民会館にて大会に参加です。

まず、各支部代表による地域実践活動の発表を聞き、続いて分科会会場に移動します。私は第二分科会「名護市中心市街地文化財史跡巡りと街づくり」に参加。日差しの強い中、史跡に造詣の深い地元ガイドの方の案内により、徒歩にて移動。まず、津嘉山酒屋見学、ここは昭和2年頃の建築と言われている。建築面積は324㎡で、沖縄本島北部地区の赤瓦木造建築物としては、最大級の建造物である。再び徒歩で、名護市場通りを抜け、沖縄で最も古いといわれるセメント瓦葺の津波屋見学、その後宿道・具志川屋・大東区宮城家のビーム・幸地河原ハーブ前のディオゴそして、天然記念物ヒンプンガジュマルにてバスに乗り、名護城展望台へ。名護市内を一望し、バスにて大西トンネル美術館を車内から見学後、名護市役所に到着。この市役所は当初風の流れを計画的に設計し、クーラーを使用しなかったのだが、予想外の車による騒音で、窓を閉めることを余儀なくされクーラーを使用する事になったようです。そこから全体開場へ移動し、閉会式に出席。分科会報告・大会講評・閉会の辞にて終了。

各自ホテルへ移動し、その後名護市民会館圏域ひろばにて、懇親会です。開会の挨拶・乾杯後エイサー。オリオンビールと沖縄の料理に舌鼓を打ちながらの懇談。次回開催県挨拶・各県挨拶、そして閉会。閉会後は名護市内の夜を満喫し就寝。

翌日は飛行機のフライト時間まで観光(ちょっと調子に乗りすぎて、レンタカーを返車時間に遅れ)駆け込みで搭乗口へ、最後まで慌しい旅行でした。



津久見支部 正会員

福祉住環境コーディネーター 大村 正壽

高齢者や身体障害者のための住宅改修の実例が多く書かれている本を探していたところ、35の実例が書かれた安楽玲子氏の『暮らしのバリアフリーリフォーム』（岩波書店）価格735円（税込）があった。

著者は、東京都品川区の依頼で、介護保険や区の制度を利用される方のお宅を訪問し、ご本人やご家族、ケアマネジャー、施工業者と相談しながら、どのように住宅を改修すればよいか、アドバイスする。訪問後は、図面や見積書をチェックし、工事終了後に再訪問して工事内容を確認し、あわせてこれからの生活などについてアドバイスをする品川区の「住宅改修アドバイザー」である。

2000（平成12）年に介護保険制度が始まり住宅改修アドバイザーとして実際に訪問し、リフォームのアドバイスした件数は1000家族とのことである。また、一級建築士、インテリアプランナーの資格をお持ちである。



〈本書の表紙の写真〉

著書によると…今では「バリアフリー」と言うだけでなく、「車椅子が使える」「段差がない」「手すりをつける」ことでしょうか、私が「バリアフリー三点セット」と呼んでいる答えが返ってくるようになりました。（中略）この答えは間違いではないのですが、正しくもないからです。（中略）1000家族の「リフォーム」相談経験から、その方々が「バリア」とされる、「床段差」や「扉の開け閉め」などを「除く＝フリー」には先の三点セットでは無理があることがわかりました。1000家族の「バリア」には、1000通りの答えがあり、その解決方法は多様です。…と冒頭にある。

著者の大変多くの実務経験からの出た結論である。それだけ「高齢者や身体障害者のための住宅改修」を慎重に進めなければならないということであろう。

「高齢者や身体障害者のための住宅改修」の規模、内容にもよると思われるが、医療・福祉・施工業者関係者と建築技術者（著者）がともに取り組んだケースが載っている。

【事例9】（54歳女性が脳内出血で片麻痺となり、要介護2で車椅子を使用するというので訪問。希望は階段昇降機の設置、トイレ、浴室の改修）では、「今日は、ご本人と病院の理学療法士（PT）、ソーシャルワーカー、ご主人、工務店、ケアマネジャーと大勢である。」ご夫婦とそれぞれの専門家との検討の結果は「エレベーターの設置」となる。この変更までの各専門家間の検討の経過は大変興味を引く。

82歳女性が膝痛で歩行困難のため寝室にトイレを増設のケース。

本人は、部屋にトイレがあることに抵抗感があったが、孫に「おばあちゃんの部屋、ホテルみたいだね」と言われて喜んでいる姿が【事例11】に記載。

介護が必要になった時、何より本人の意思を大切に物事を進めるべきだと多くの教科書やマニュアルに書かれているが、「確かに基本は本人の意思を大事にすることだが、本人が頑なである場合、家族の意思でことを進めてよいケースがたくさんあると思う。これまでも、強行して結果がよくなかったケースは経験していない。」「『楽になった。もっと早くリフォームしておけばよかった』と言う声がほとんどである。」が【事例17】に記載。

車椅子利用者が入浴するためには、浴室をバリアフリー化しないと無理だろうと考えがちだ。「PTなどのリハビリの専門家が、現在や将来の身体の状態を把握し、適切な訓練を行った上で福祉用具や介助者の手助けを受ける…こうした方法と、浴室を全面改修し、介助の負担を軽くする方法がある。リフォームすれば、介助ヘルパーなどによる手助けが必要ないケースもあるだろうし、リフォームしても介助が必要なこともある。どちらがよいかは一概に決められない。いずれの方法を選択するかは、ご本人や家族の考え次第だ。」「将来、浴室が老朽化した場合や、体の状態に変化が生じ、今の方法で入浴出来なくなった場合は、その段階でリフォームを検討することになる。(中略) 元気な時に、機会をみて、バリアフリー化しておくに限ると改めて思った。」【車椅子利用者のために】

「ヘルニアによる腰痛を抱えたひとり暮らしで85歳、要支援の女性が、台所の調理台が高くて使えなくなったので、低くなった身長に合わせたキッチンにしたいと希望…」腰かけて作業出来るキッチンに変更。

「工事後、再訪問した。『本当に楽になりました』と言いながら台所に案内された。小さなキッチンの下は開けてあり、キャスターのついた椅子が置いてある。キッチンの横には、普段利用する調味料や玉杓子などが使いやすそうに配置されていた。決して広い台所ではないけれどこれで充分、と喜んでいる。(中略) 今回初めて、高齢者のキッチンリフォームに立ち会った。調理は、献立作成、食材の用意、切る、火を使う、盛りつける、という多くの行為を必要とする高度な作業だ。心身機能を低下させず家で長く暮らすためにも、キッチンリフォームは、もっと広まってほしい。」【事例26】に記載。

以上は、一部の事例の紹介であるが、品川区の「住宅改修アドバイザー」の立場であるため、医療・福祉・設計・施工業者の関係者か、それらの複数の方が関係している相談である。福祉・設計・施工関係者は勿論の事、依頼主を担当する医療関係の理学療法士(PT)の方が在宅での日常生活の行動についての意見や助言は住宅改修をする上で大変重要だと感じた。

また、冒頭にも書かれているが、必ず完成後に再訪問し、出来上がりをチェックし、依頼者にリフォーム後の使用状況を聞き取っている。「住宅改修アドバイザー」の立場上当たり前とはいえ感心する。

著者が相談を受けるとき、「具体的に計画を立てる段階では、設計者や専門の業者に依頼し、これまでにまとめた将来の暮らしのイメージと、現在の家の問題

箇所を伝えることになります。(よく、「誰に頼めばいいんでしょう」「専門家を紹介してください」という質問を受けますが、私は行政から委託を受けて仕事をしているという中立な立場ですから、特定の設計者、業者などをご紹介することは出来ません。)とのスタンスで取り組んでいる。著者のような「住宅改修アドバイザー」の方が、大分県にもいなければ、必要ではないかと思う。

氏は「品川区高齢者障害者にやさしい住宅モデルルーム」を、1993(平成5)年7月から運営。このモデルルームでは、住空間のなかで福祉用具を体験したり、介護経験のある建築専門の女性相談員が常駐し、見学者を案内したり、個人の方々の相談に応じているという。

大分県には「大分県社会福祉介護研修センター」があり、福祉用具の体験は出来る。また、モデルルームもある。

モデルルームについては「大分県社会福祉介護研修センター」と「大分県建築士会」が協力しあって、「よりよきモデルルーム」を目指したいものだと思うが…。

この安楽玲子(あんらく・れいこ)氏著の『暮らしのバリアフリーリフォーム』は事例も豊富であり、それぞれにフリーハンドのパスが描かれてあり、分かりやすい良い本であると思う。興味のある方にはお薦めしたい。

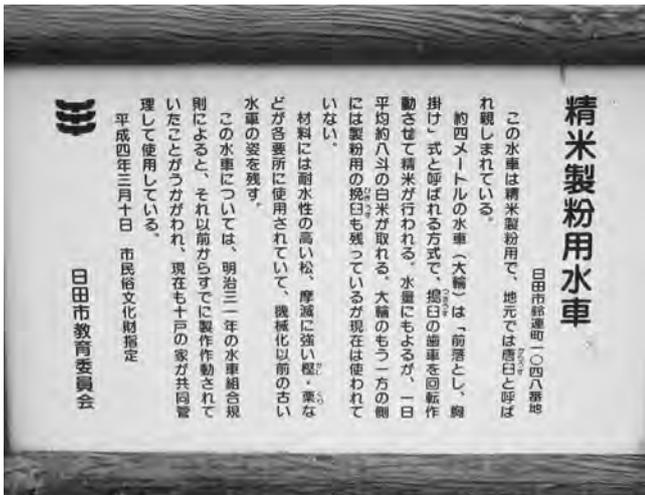
日田の水車小屋



日田支部 養父 信義 (士会副会長)

コト、コト、コトと規則正しい音が、耳を澄ますとエンジン音の向こうから静かに響いてきた。市内中心部から走ること30分ほど、小鹿田の里に向かう途中の鈴連町下小竹集落の道路より一段下がる小野川東岸にその場所がある。

明治生まれの動力用水車 (精米・製粉用唐臼) である。



平成16年の台風18号で被害を受け小休止していたが、平成18年3月末に水車本体と同小屋を修理して明治から続く水車の回転音と臼の杵音が甦った。夜ともなると道路を隔てた高台の住宅までも規則正しいリズムは、子守唄にもなるほど生活に溶け込んでいた。

そもそも、この水車は下小竹部落11軒の共有資産で明治31年の建築と言われているが、その以前から

も建っていたと言われるなど、正確な建築年代は不明である。一共有者宅に明治31年旧2月の水車規則回書が存在することから、その建築年代として伝承しているようである。尚、この水車は平成4年3月に日田市の民俗文化財として指定されている。

県内でも明治期の水車は残ってなく、精米の機能をも実動している水車はこれ以外にはないと思える。また、この水車は胸掛式で珍しい。胸掛式とは、皆さんが良く目にする水車の頂上部から水を落下させる形式と違い、水車の中段で水を受けて回転させる形式である。このため回転の労力やバランスがたいへん難しいといえるが、導入水の落差が少なくすむ利点がある。つまり必要水路の長さが短くて良く、此処の水路も60メートル上流地点で取水している。

臼に玄米を入れて精米する杵への動力伝達は、水車の回転運動をシッペイ (軸に2枚の板を対角に植え込み4枚羽根で回転する) で上下運動に変換するのであるが、回転軸の伝達も直線方向でなく、水車軸と矩の手に軸取りをし、歯車 (カム) で伝達する、カムで回転数を上げる工夫もされている。動力軸を矩の手に取ったことは、小屋の平面積をコンパクトに収める事にも役立っている。現在の小屋は精米室と水車室の2室で構成されているが、当初は製粉室をも付した3室であり、精米・製粉室にはトビラが建ち施錠されていた (現在も鍵付の巡番札が残る) とのこと。



水車小屋は、茅葺きであったので10～15年ごとに葺き替えが必要であったが、昭和52年にトタン板で覆う。その後幾たびかの台風被害に見舞われ、今回の保存修理工事では杉皮の屋根で葺き50年は維持できるよう仕上げた。



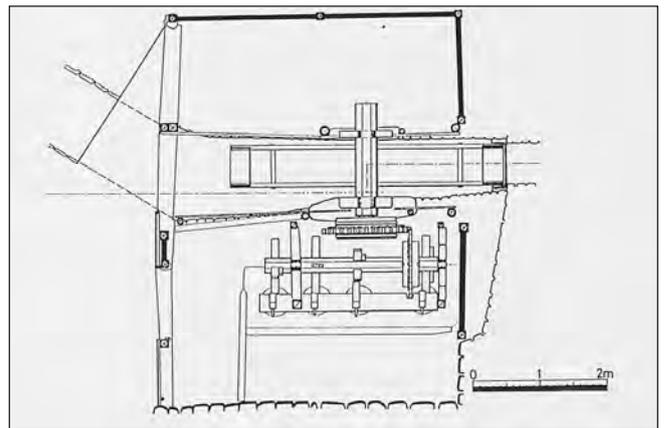
形は寄せ棟で東面屋根を地面まで葺き下ろし、精米室の作業や荷物置き場を確保している。地の利や生活の知恵や作業効率などを非常に良く取り入れていることに驚くし、河川敷隣地の水面より約2メートルほどの高さに立地しており、水害など幾多の災害をも潜り

抜けての今日であり、これまで消滅せずによく残ったものと感心する。10軒ばかりの共有であったことが幸いしたと思うわけである。

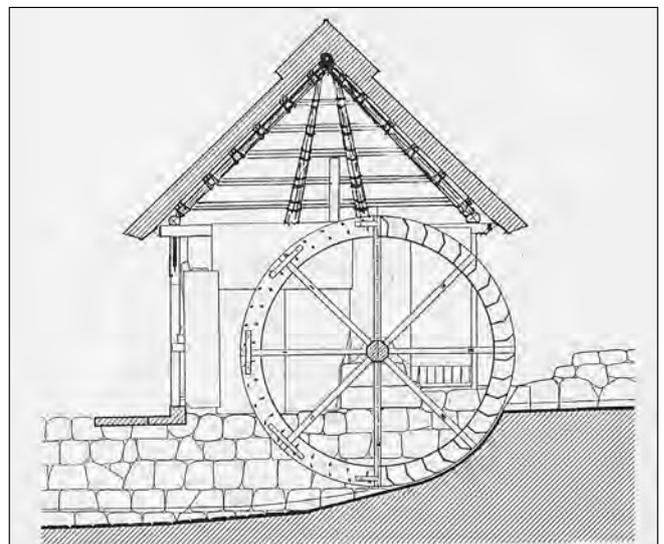
私たちが中学・高校の頃までは、各地区に唐臼と呼ばれる精米所が点在していた。但し、水車でなく電動力による精米であったと記憶している。最近は無人工米機をあちこちで見かける。確かに精米時間は早くなり便利になったようには思える。水車による精米は一臼一日で一斗がやっととのこと。しかし、ゆっくり剥がす（搗く）ので米が熱を持たずおいしく炊けるとのこと。食してみた。わずかだが確かに味が良いように感じた。

また、精米そのものの要領も記憶から消し去られていた。臼に石粉と藁で作った「ボテ」（ドーナツ状に編んだもの）を入れなければ精米できないこと。

水車の回転や臼の杵音、水車の材質、小屋の風情、自然の恵みだけを利用したエコロジー、後世に伝えるべき食育等など。とにかく百聞は一見に如かず、実物を見ることをお勧めする。



▲水車小屋平面図



▲水車小屋断面図

女性部会の page

平成20年度 全国女性建築士連絡協議会(東京大会)報告

テーマ 「地域と共生する住環境づくり」
～住みかえに学ぶ～

平成20年度は、上記テーマをメインテーマに、『住みかえ』を議論の切り口に、「建築をとりまく制度」や「建築物の再生活用」、「高齢社会」や「子供の住環境」等の事について協議し、地域に貢献できる建築士のあり方を考えることをテーマに開催されました。

場所 日本建築学会 建築会館ホール・会議室
東京機械本社 会議室 他

日程 平成20年7月18日(金)・19日(土)

<1日目>

[開会式] 13:15～13:30

[活動報告] 13:30～15:00

「らいてうの家」 長野県建築士会

「女性建築士の集い2007」 大阪府建築士会

「景観ワークショップ(下関)」 山口県建築士会

「女性のための市民建築大学」 福岡県建築士会

[基調講演] 15:15～16:00

[パネルディスカッション] 16:00～18:00

<2日目>

[分科会] 9:00～11:30

「住みかえ」「建築をとりまく制度」「健康住宅」

「建築物の再生活用」「歴史的な建築とまちなみ」

「子供と住環境」「高齢社会」「集まって住む」

[全大会] 11:45～12:30



▲パネルディスカッションの様子



▲A～Hの8つに分かれて行われた分科会
こちらはD分科会「建築物の再生活用」の様子



▲建築会館ホールにて開会式の様子



▲大分県からの参加者(5名)の皆さん

参加者を代表して、大支部の下瀬恵美さんより、感想文を頂きました。

全国女性建築士連絡協議会に参加して

大支部 下瀬 恵美

一棟建設・一棟解体。両方とも、実に多くの資材が必要となり、多くの廃材が出るものです。こうしたことが全国では、日々繰り返されているのです。

そして、環境破壊。地球はすでに悲鳴を上げているのに、人々は、自分自身に特に影響を感じなければ、他人事として済ませてしまうのです。営利主義の自分さえ良ければのツケを、今変えなければ、地域と共生する住環境は取り戻せないと思うのです。

将来を担う私達の子供達の世代に歪みを残し、今こそ私達が少しでも改善していかなければ、家族すら壊れ、また人体・環境も悪化の一途をたどるでしょう。

古き良き物・古い習慣は、実は予測も可能ですし、改善も可能範囲なのではないでしょうか。新しい物・新しい習慣は、なかなか改善出来ず、悪い物と判っていても、便利であれば使ってしまう。

リフォームの現場でも、前回使用している物が人体に悪いと判っていても、コスト面では安価だし、見た目も良く、仕上がりも良い。シックハウス症候群でなければ良いという方もいらっしゃる。これでよいのか…自問自答しながらの現場も多くあるものです。

女性だからこそ、守って大切にしなければならない本当の意味を痛感でき、またそれを建設に実践出来るのではないかと、建築士会女性部に入会して感じるのです。

また、高齢化に伴って、生活動線の単純化やバリアフリーと、家に住む・家を持つ事で、生涯を通して考えていかなければならない問題。その面での住みかえという制度も、現段階では問題が多いように思います。

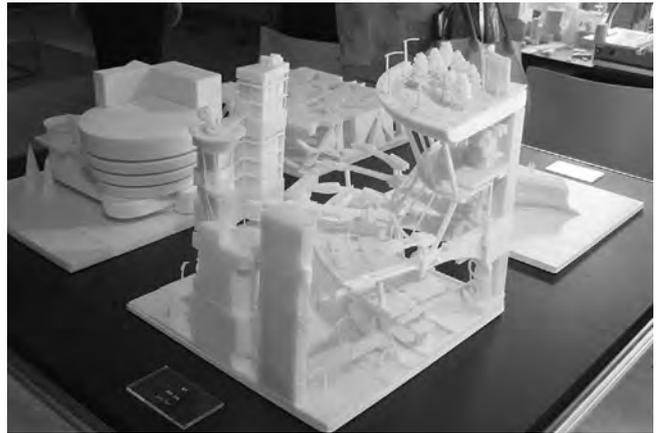
少々の不便も生きている証。地域・自然と共生しながら生活をする事は、少々の不便も楽しいものです。便利・楽ばかりを求めない住宅作りも、懐かしく良いものかもしれません。

編集者より

参加された皆さん、大変お疲れ様でした。写真は、中道了子さんよりご提供頂きました。下瀬さん、中道さん、大変ありがとうございました。

来年度は、長野県で開催されるそうです。女性部の皆さんの多くのご参加をお待ちしております。

空いた時間で見学してきました



▲建築会館で開催されていた『模型展』の様子



▲ル・コルビジエ 国立西洋美術館



▲安藤忠雄 21-21DESIGN SIGHT

<告知> 9月20日(土)13:00~16:00。大分文化会館にて、『木の家づくりと子育て』をテーマに女性建築士住宅セミナーを開催致します。地元民報キャスター・記者を経て、現在フリーで食や農の取材を手掛けておられる高橋陽子さんによる講演会や、ワークショップなど必見の内容です。是非ご参加下さい。

特集

おり紙建築

1

大分支部青年部長 竹宮浩一郎



今、子供たちのmonoづくり意欲が失われていく現状があると思う。

ゲーム、ネット、勉強、勉強…「カッターってどう使うの??？」悲しい…

大分県建築士会全体で取り組みを行っている折り紙建築教室には、希望の光があるようだ。

初めて折り紙建築を目にする子供達の姿を見ているとそう感じる。

初めは、ザワザワと騒ぐ教室も折り紙建築の講義が始めると講師の一言一言を聞き、ちゃんと理解しようとしている。この様子には、学校関係者の方や保護者の方も驚きのようだ。

参加者の中には、小学校低学年の児童も少なくない。当然、カッターの経験者はほとんどおらず大苦戦することになる。しかし驚くことに苦戦はするものの、何をして良いか判らずモジモジする子供は今まで見たことがない。自分なりのペースで進み、作品を作り上げていく。高学年になると、負けん気がでてくるようだ。大人の我々でも降参してしまいそうな作品に挑んでいく。自分で選んだ意地なのか、半数以上の子供たちは完成をさせてしまう！完成した時の誇らしげな顔は充実感に満ちている。完成後も次々と作品を作る意欲を見せてくれる。耳を傾け、手を動かし、分からない事があれば聞く、友達同士で教えあう。当たり前的事を経験している子供たちは、すごく輝いている。



先日、大分県鶴崎工業高校から連絡をもらい、折り紙建築の講義に伺わせてもらった。

先生の話によると、中学生が高校に体験入学にきた際、高校生が講師となって中学生に折り紙建築を指導したいとのことだった。次世代への引継ぎを実感した瞬間だった！素晴らしい！また、たまたまそこに居合わせた生徒が、中学校時代に折り紙建築を経験した事がある生徒だと知り、ダブルパンチの感動！まさか、以前折り紙建築教室を受けた生徒が建築の道に進んでくれているなんて。(折り紙建築が道標になったかどうかは愚問)

私は、折り紙建築を通じてmono作りの楽しさや、建築に興味を持ってもらう事を最後に言うようにしている。それは、自分への言葉でもあるのかもしれない。素直に人の言葉を聞き、取り組む。当たり前の行動を見直す良い時間である。

特集

おり紙建築 2

大分支部 廣藤 啓二

オリジナルを中心に書いてくださいと言うことなので、いくつか折り紙ごとにエピソードを書きたいと思っています。

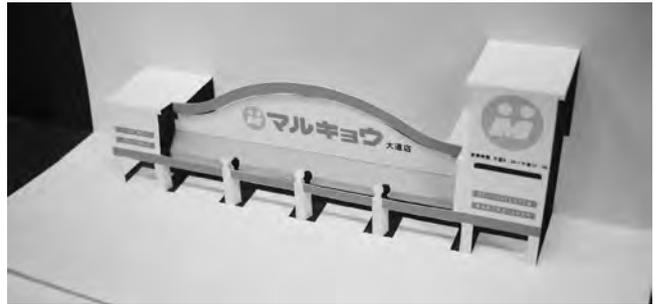
大分銀行赤レンガ館：これが私の記念すべきオリジナル第一号です。自社設計で設計図も有り割と難なくできたと思いますが、強度的に弱いところがあるかなと思います。気合を入れてカラー版も作りました。



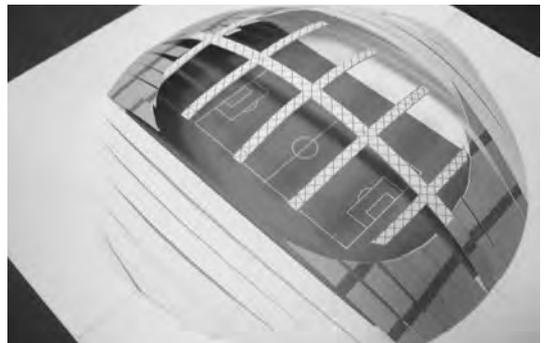
トキハわさだタウン：2枚組の横長の折り紙です。実物を正確にスケールダウンすると、もっと横長になります。デフォルメして2枚に収まるようにしています。それと正面のRの壁を再現したくてカラー版ではリフォームしました。基本的に私の折り紙は形を優先するために中央から半分に折ることをあまり気にせず作っています。



マルキョウ大道店：わさだタウンとともに子供たちに人気があるもののひとつですが、このあたりで、これまでの折り紙は、子供たちが折り紙教室で作ることができないと言うことに気づき即興でそれぞれのFor kids版を作りました。



丸石ドーム：常に作ろうと思いつつ作れなかった折り紙です。平面な紙を3次元的な立体にどうしてもしたくて、なかなかアイデアがまとまりませんでした。ヒントを得たのは「竹細工」。自分の父親が竹細工職人で、子供のころ毎日作っている姿を目にしていた竹の照明器具です。後は、2方向からしわを寄せればドームにすることができるのではと思い、何十回も試作し調整しました。



折り紙建築と聞いたときから、まさしく自分向きだなと思っていました。もともとプラモデルやペーパークラフトが好きで、立派な建物よりもそのホールに飾ってある模型やパースのほうに興味を奪われたりと言うこともたびたびです。

最初は作りやすいもの(特徴がある・設計図がある等)を選んでいたのですが、そのうち皆が行ったことがあるもの、親しみがあるものに移っていき子供用まで作ってきました。自分が考えた折り紙を真剣な顔をして作っている子供たちを見て、いつも密かに感動していました。皆さんもオリジナルに挑戦してみたいかがでしょうか。

特集

おり紙建築 3

大支部 足立 忠明

平成13年に当時の大支部の青年部長だった姫野英次郎さんの下、開催した第1回折り紙建築教室。初めての取り組みにも関わらず、村松顧問のご尽力により折り紙建築家元の茶谷先生を講師に招いての盛大な開催となりました。

私もスタッフとして参加しましたが、士会員を始め参加者のほとんどが折り紙建築の初心者であり、教える方も教わる方も苦労しながら取り組んでいました。



そういう中、折り紙建築の熱烈なファンであり自分が作りたいいくつもの作品をひとつに製本して、会場に持ってきている若いお母さんがいました。茶谷先生にあった感動と、自分の作品集を見てもらえた喜びで、大変うれしそうにしている顔が今でも印象に残っています。

その後、平成15年からは各地域の子供会や小学校などから開催依頼がくるようになり、士会で本格的に折り紙建築教室を地域実践活動として取り組み始めました。ちょうど私が姫野前青年部長から、大支部の青年部長としての任を引き継いだばかりの時期であり、青年部のみんなと試行錯誤しながら、どうしたら分かりやすくかつ楽しく進められるかを話し合いました。



また小学校のPTA行事の中で招かれた際には、紙飛行機や手芸などを教えている他の団体の方と話しをする機会もあり広く交流を図ることもできました。

私としては、建築士会に入って、いろんな活動に参加して来ていましたが、折り紙建築を通じて手軽に物づくりの喜びを、人に感じてもらえる事のうれしさを実感できた事は、それまでの活動とは違った士会での活動意義を感じることができました。

今では、県内全体の活動として取り組みが行われ、その輪が広がっていています。



この様な取り組みも含め、建築士会員として物を作る喜びを、次世代を担う子供達を始めとして多くの人に伝えていけるように、次の若手士会員に繋げていければと思います。



親子 折り紙建築教室

日田支部 櫻木弘三郎

8月17日、建築士会日田支部と光岡おやじクラブ（光岡小学校父兄会）との合同企画により、親子折り紙建築教室を開催しました。折り紙建築教室は日田支部としては今回が初めての試みとなります。お盆明けの日曜日、夏休みの仕事を兼ねていることもあって、子供19名、大人15名の計34名に参加していただきました。



今回の折り紙建築ですが、作成時間は約2時間。課題は参加者それぞれの年齢に合わせて、低学年用、中学年用、高学年用、大人用の4種類の難易度で配布しています。折り紙建築の作り方、カッターナイフや定規の使い方を丁寧に説明した後、練習を兼ねて比較的簡単な“ピラミッド”の作成に取り組んでももらいました。しかし、大人も子供も初めての体験。『間違えた!』『ここはどうするの?』と苦戦の声が上がります。建築士会のメンバーは各テーブルを回ってサポートを行いました。折り紙建築で一番難しいのは“折り出し”作業です。思うように山折り、谷折りができず、投げ出してしまいそうになります。そんな子供達の手をとって一緒に作業を行いました。練習課題を作り終えるのに一時間くらいかかりましたが、出来上がった作品を見て感激する子供たちは早速二つ、三つと新たな課題に取り掛かりました。この頃になるとカッターの扱いにも慣れてきて、安心して見ていられます。中

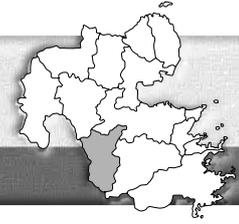
には折り紙建築の冊子を見て『これも作ってみたい』と難しい作品を指差す子供もいました。

親子と一緒にひとつひとつの課題に取り組む姿はとても微笑ましいと感じました。昨今『誰でもよかった』と人を殺める事件が頻発しています。ひと括りにしてはいけませんが、それは社会への不満や家族関係の希薄さが原因では?と囁かれています。今回の親子折り紙建築は家族のつながりを深めるのにちょうど良い機会になったのではないのでしょうか。

今後の活動として、日田市の建築物、例えば、豆田の町並み、隈まちづくりセンター黎明館や祇園山鉾会館。そういった日田にある建物を折り紙建築にして、地域に広めていけると日田支部の独自性が表れて良いのではと思います。

難しいけれど、やり遂げる達成感が気持ちいい。意外に楽しい折り紙建築。満面の笑顔を浮かべる子供たちの姿に、今回の催しは大成功を収める事ができたと感じました。以上、親子折り紙建築教室の活動報告とさせていただきます。





ドイツ 温泉療養施設「ヴィタクラシカ」の茶室(休憩所)建設 その3

竹田支部 伊東 政博

さて、今回はヴィタ・クラシカとの最終のつめも無事終わりましたが前回よりの続きからお話を進めていきます。

まず、12月25日に木材検査の運びとなった事から書いていきます。役員が集まり木材検査も無事終わりましたして本日から早速木材の切込みにかかります。年末年始も頑張ってくれました。そして1月24日は仮組みの状況、検査を役所の方立会いで行ないました。検査の後早速解体です。梱包作業に入ります。数量をチェックしながら進めていきました。インボイス・パッキングリスト作成に必要です。2月7日に運送会社の日通さんと打合せをして今後の日程を決めました。

2月23日ついにコンテナが大分港を出航しました。神戸港経由ドイツ、ハンブルグ港までの長い船旅の始まりです。

4月上旬に到着予定ですのでこちらのスタッフも出発の準備に入りました。そして3月30日福岡を出発し成田経由で31日夕方到着しました。現地での第1回打合せは4月1日、2回目4月7日、ちょっとコンテナの荷受でトラブルが発生しまして4月14日に現地に到着しました。早速荷降ろしをし、4月16日にはいよいよ建て方を開始しまして17日には棟木まで納まりました。瓦職人も到着しましたので屋根仕舞いにかかりましたが21、22日はあいにくの雨だったそうです。テントやシートを張って作業を進め22日にルーフィング張りまで終えました。23日は17時から上棟式が執り行われます。



「4月17日建て方状況」

結構力の強い方が多くて柱なんか1人で抱えて建てたとか聞きました。計算上1本90~100Kgあります。パワーの違いをととても身近に感じた瞬間です。



「屋根仕舞い状況」



「4月23日上棟式前の状況」

上棟式の準備をしているのでしょうか。掃除、片付けをしています。

そして両国の国旗と吹流しを飾ってあります。



「4月17日建て方状況」



「4月23日上棟式の状況」



「4月23日上棟式の状況」



「4月26日より瓦葺きを開始」



ひとつの仕事成し遂げたときは皆同じ気持ちだと思えました。こちらもうれしくなります。



5月7日現在の状況です。残工事があります。

現地の大工さん、他の職種、今後の作業の打合せを行い8日に帰るようになりました。(当初の帰国予定が8日の飛行機で予約していた為です。)完全に終わるまで残って指導ができなかった事に対して申し訳ない気持ちと技術屋としての心残りがあつた事が少し残念です。

最初の輸送のトラブルが最後まで尾を引きこのような結果となりました。下の写真は30日落成式当日に写されたものです。とても立派に素晴らしい建物に完成しております。現地に行った人も行かなかった人もとても感動をしました。私は今回行けませんでした。が現地に行って作業をした様な気持ちでこの記事を書きました。そのくらい深い感動をうけました。

また、この落成式には牧 剛尔市長をはじめ27名の方が姉妹都市の交流会に参加しました。パート・クロツィンゲン市の1200年祭の1つの事業で造られたものです。



「5月30日完成状況」



茅葺き民家、 調査研究について

玖珠支部 須賀 文廣

今回、玖珠支部では大分県建築士会の「大分地域貢献・まちづくり活動基金助成金」の助成を受け『残したい、玖珠地域に残る茅葺き民家』という事で、茅葺き屋根の民家を調査研究することになりました。できれば保存維持の方法まで研究できればと思っていますが、技術者、費用等、の難題もあり資料だけでも現状を残していきたいと思えます。

玖珠地域には今でも、茅葺き屋根の建物が多く残っています。築300年位の建物から、最近新築されたものまで幅広くあります。(興味のある方は玖珠町観光協会のHPに19件ほど紹介されています) 正直申しますと、現在でも茅葺きで新築(地域によりますが)できるとは知りませんでした。

この事業を立ち上げ茅葺き屋根のことを調べるうちに、この建物の良さに惹かれる多くの方がいることも知りました。



竪穴式住居

伊勢神宮



玖珠町野口家
(築1年)

竪穴式住居の時代から現在まで並べてみました、茅葺きをよくよく見るに、なんとおもむき趣のあることかと感心します。

玖珠地区に残る築300年の高浪邸そして、築130年の後藤邸、最近建てられた玖珠町の野口邸、この方は若い年代の方ですが、やはり茅葺き屋根の魅力に惹かれてどうしてもという事で、本格的な茅葺き屋根で建てています。今後の維持・管理も含め、茅葺き民家として調査の対象とさせていただくつもりです。

続けて活動の経過報告いたします。



野口邸 (築1年) 正面



後藤邸 (築130年)



高浪邸 (築300年)



青年部 コラボ活動

青年部長 板井 祐輔

現在、臼杵市内における多くの青年団体は会員減少により活動面での人員不足など多くの問題を抱えています。

先般行われた建築士会青年部長・副部長会議でも、20年度のアクションプランとして会員確保や士会のPR活動などが問題提起されました。

このような諸問題は活動を縮小化するだけでなく、市民からの団体に対する知名度や活動への理解度も低くなるのではないのでしょうか。

また、活動そのものの質も低下してしまい、やりたい事がやりづらい体勢になってしまいます。

そのため、団体としての意見や臼杵市に及ぼす影響力・位置づけが希薄となり、次代を担う青年団体会員としての意識低下が危惧されます。

そこで、同じような問題を抱えている臼杵市の青年団体同士の交流を深め、意見交換をおこない解決策を見出そうという趣旨のもと、「臼杵市青年団体交流会」が開催されました。

臼杵商工会議所青年部会の主催で、さる5月30日に下記の団体の代表者が参加し、それぞれの団体の現状や問題点を提起しました。

臼杵青年会議所・臼杵ベンチャークラブ・臼杵市料飲店組合青年部・臼杵市連合青年団・臼杵市役所青年部・臼杵市中央通り商店街振興組合青年部・深田地区青年団・臼杵商工会議所青年部

どの青年団からもやはり異口同音「会員数の減少」が問題提起されました。会員数の減少＝活動の縮小化となってしまいますが、建築士会などの専門団体だと勧誘にも制限があります。

そこで、人数不足を補うためにも活動方法に着目し、異業種とのコミュニケーションづくりが重要になってくるのではとおもいます。

昨年の建築士の集い大分大会では臼杵支部は第2分科会を担当しましたが、飲食店や販売店など異業種との打合せで大変手間取りました。

このような時に、地域に定着した異業種間ネットワークがあれば、話もスムーズにいったのかとおもいます。

また、この異業種団体との交流というコンセプトは、今年のサマーセミナーでも活かせないかという意見もでています。

士会臼杵支部としても建築活動のみならず、祭りや地域おこしのイベントに積極的に参加し、広くネットワークづくりが出来ればとおもいます。

今後もこのような考えが町づくり人づくりにつながるよう、青年団体の活動をアピールし相互のネットワークづくりを進めていきたいとおもいます。



おおいだ建物発掘隊

臼杵編

久家の大蔵 くげのおおくら

臼杵支部 赤嶺 竜一

造り酒屋の貯蔵庫として使用されていた江戸末期の蔵で、取り壊される予定のものを地元の有志たちが、南蛮資料館として存続させようと働きかけ、再生されました。



外壁はポルトガル特有のアズレージョという装飾タイルによる壁画で飾られています。

アズレージョ美術第一人者のポルトガル人ロジェリオ・リベイロ氏によるもので、16世紀大航海時代の日本・臼杵とポルトガルの交流史がテーマとなっており、従時のキリシタン文化を彷彿させる絵柄ばかりです。

国内ではこれほどの規模のアズレージョはたいへんめずらしく、蔵内部には、「誕生」・「洗礼」・「昇天」と題された大きな3枚の壁画も飾られています。



▲誕生



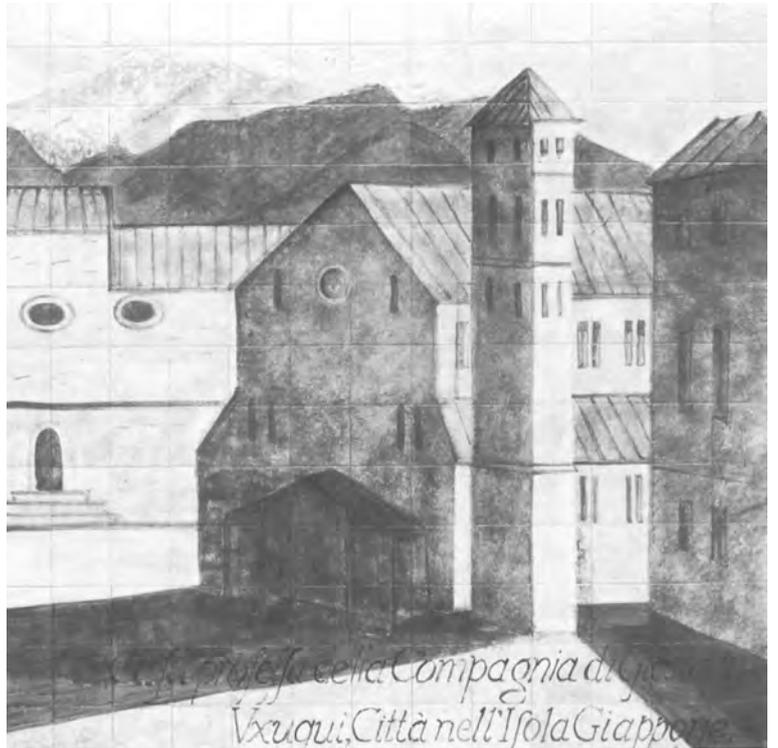
▲洗礼



▲昇天



▲大友宗麟先例



▲臼杵にあった修練院



▲蔵外部-アズレージョー

「旧耶馬溪鉄道厚ヶ瀬トンネル」

中津支部 山村 増治

名 称：旧耶馬溪鉄道一号厚ヶ瀬トンネル
旧耶馬溪鉄道二号厚ヶ瀬トンネル

所在地：大分県中津市耶馬溪町大字土田

建築年代：大正2年

登録：平成14年12月4日

登録番号：44・45

構造・形式：煉瓦造隧道



「一号厚ヶ瀬トンネル」

中津と山国町の守実を結ぶ耶馬溪鉄道は、大正2年～13年に建設された。厚ヶ瀬トンネルは、第一期工事の大正2年に建設された。

一号トンネルは長さ約25m、二号トンネルは長さ約32mで、幅員はともに3.7m。馬蹄型坑口は半円アーチ部をレンガ造、その他を切り石積みとする。

2つのトンネルは約40mの感覚を持って連なっており、現在は耶馬溪を走るサイクリングロードとして利用されている。

国土の歴史的景観に寄与しているものとして、平成12年に文化財建造物に登録された。



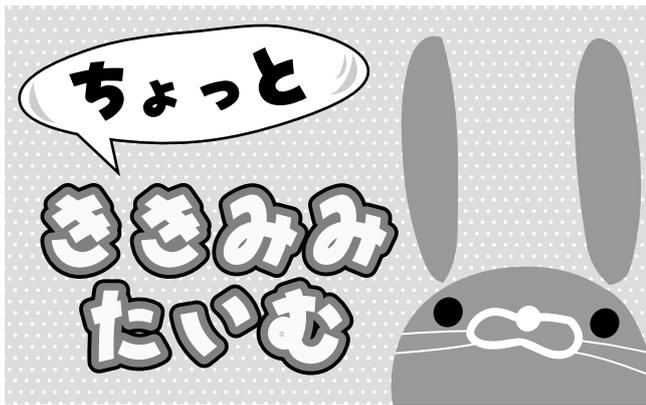
旧耶馬溪鉄道は、現在「メイプル耶馬サイクリングロード」として利用されており、厚ヶ瀬トンネルはそのサイクリングロードの中津から出発して11kmほどの場所にあります。しかし、鉄道のトンネル跡だけに周りは森に覆われていて、車でその場所まで行く事は出来ません。また近くまで車で行ったとしても、そこから10分程度は歩かなくてははいけません。しかも、人気の無い幅員4m弱の森の中です。とても一人で行きたくなる場所ではありません。この歴史的建造物をもっと多く人に見てもらえるように、管理している中津土木事務所をお願いしたいです。



「二号厚ヶ瀬トンネル」

「メイプル耶馬サイクリングロード」

メイプル耶馬サイクリングロードは、旧耶馬溪鉄道跡を利用したもので、山国川に沿って大分県中津市から耶馬溪の守実（もりざね）まで、約35kmという西日本最大の自転車専用道路です。そして、大規模自転車道の一路線としては、大分県中津市の中津駅を起点に山国町のコアやまくりに至る一般県道として認定されています(大分県道411号中津山国自転車道線)。



オリンピックに沸くCHINA(中国)ですが、先日知人の招きで訪問しました。

1週間滞在し、観光地以外の建築探訪を実施。外観は近代的ですが、柱・梁は日本の半分程度で高さは倍以上。高層階(20階)ワンフロア10戸に階段一式とEV一基。完全外断熱・ペアガラスで全戸床暖房。

日系デパートの建設現場では、梁の躯体にコンクリートブロック片が数十個混入されており、シートで覆いもしないで白屋堂々と仕上げ工事が進行中でした。

知人曰く、「気にしない、気にしない」「見なければいい」と一言。

「我建物超経済的工事」！(中国語風に)

四川地震の惨状が浮かんできましたが、これも中国4000年の歴史なのでしょうか？

<YASU>

前年度をもって、青年部が終わったと思いきや、編集委員になってしまいました。何事も「経験」ということで、頑張りたいと思います。

ちなみに、『建築士おおいた』を集めて、改めて読み直しています。

<K・S>

前回からの進展です。

「ママって呼んでもらえました！」

なんと、2歳の誕生日を迎えたその日、突然「ママ」と言えるようになりました。今までが嘘のように、それからというもの、家でも外でも「ママー！ママー！！」と、何かと呼びかけられ、「なあに？」と答えるほうが大変^^；

それから、以前は「アンパンマン」を「アンパンパン」と言っていたのですが、「ママ」と言えるようになった途端「アンマンマン」に……。今では、ちゃんと「アンパンマン」と言えるようになり、色々な言葉や歌を口ずさむようになりました。

子供の成長って面白いですね☆^^♪

<四つ葉>

最近、大分国体のマスコットキャラクター、めじろんがかなりの人気ようで、私のまわりでも「かわいよね〜♥」という声をよく聞きます。

そこで私もグッズの一つでも買ってみたいと思い、めじろんグッズ売り場へ足を運んでみました。めじろんタオル、めじろんボールなど、色々なグッズがありましたが…「鈴鈴(りんりん)めじろん」…か、かわいい…♥即購入、今では家の鍵を開け閉めするたびにめじろんがりんりん鳴いています♪

<River>

先日、彼女とアフリカンサファリに行ってきた!!小さい頃、随分祖父に連れられて行ったのを覚えています。久しぶりに行ってみると、入り口のマンモス像を見るだけで興奮してしまいました。もちろん、動物達を見ているだけでも興奮の嵐…一人で騒いでいました。案の定、私の車のせいで、後ろの他車やジャングルバスが渋滞を起こしていました(ごめんなさい↓↓)。だって、横をチーターや象が歩いているんですよ!!盛り上がりなげや損ですからね。それぐらい見入ってしまいました。でも、一番感動したのはサイですね(私的にですが…)。最後はちやっかり赤ちゃんライオンと写真を撮ってきましたよ。今ではテレビの上に飾っています。彼女も写真に写っていますが、やっぱり赤ちゃんライオンが一番えらしいです。

<ジムシー>

連日、北京でのオリンピックの話題がテレビを独占していますが、次期冬季オリンピックの開催地のヴァンクーバーの友人と電話で話しました。

冬季オリンピックを控え、メイン会場となるウイスキー周辺をはじめヴァンクーバー市内もオリンピック需要で沸いているようです。カルガリーオリンピック以来の冬季オリンピック開催です。

今回のヴァンクーバーは、私の知る中では一番きれいな都市です。観戦と同時に観光や食事時も十分に堪能できること請け合いです。(カナダは移民の国です。世界各国のレストランが多くあります。)

皆さんは、フィギュアスケート、スプリントスケート、スキー競技に注目しているでしょう。私のお勧めはアイスホッケーです。カナダの国技でもありますし、生観戦は最高にエキサイティングで面白いですよ!

<gigaチャン>

MY WORK

- ★建築名称 くすりのキャプテンキッズ 豊府店
- ★所在地 大分市大字羽屋118番地1
- ★建築主 有限会社 みどり調剤薬局
- ★設計者 有限会社 アーバンビジョン建築事務所
- ★施工者 株式会社 溝口組
- ★構造・規模 木造・2階建て 90.15㎡
- ★用途 調剤薬局
- ★竣工 平成19年4月10日
- ★設計趣旨

吹抜けの待合室には、大きな開口部を設け、明るくゆったりとした空間を確保しています。受付カウンターや螺旋階段、ソファー等で空間にアクセントをつけています。外観も多様な素材や色を使用し、全体のバランスを取りながら個性的な建物に仕上げています。



- ★建物名称 堅浦区 羽迫神社 (拝殿工事)
- ★建築場所 津久見市大字堅浦
- ★設計者 塚本 健進
- ★施工者 (有) 塚本建設 代表 塚本 清貴
- ★構造・規模 木造平屋建て 81.15㎡
- ★竣工 平成20年5月
- ★設計主旨

この建物は、堅浦地区にある羽迫神社の拝殿で、古くから氏子の皆様に愛され、親しまれてきた建物です。当初の依頼内容は、今の拝殿と同等のものを建て替えてほしいとの事でした。打合せを進めて行くうちに、日頃の参拝のほか、神事、神楽、地区行事及び会議など、年間を通じて使用頻度が高いということが分かりました。既存の拝殿は、束建ての独立基礎、床は杉板一重張り、もちろん窓・内張りもなく、そのため冬場の会合や神事は、とても寒く地域の方は大変つらい思いをしているとお聞きました。今回この建物を伝統的な日本建築のイメージを現代的な材料と技術で表現し、参拝をする拝殿と、神楽、会議が出来るという2つの機能を持つ建物として要素を検討し、かつ地域の負担を考慮し、低コストになるように設計・施工を進めていきました。これから氏子の皆様が気軽に、そして快適に、神楽や御神輿など伝統文化が伝承されるようにこの拝殿も地域と共に生き続けてくれればと思います。



MY WORK



豊前海を一望する棲家

- ★設計施工 井堀工務店
- ★構造・規模 木造2階建て 73㎡
- ★建築場所 福岡県上毛町
- ★設計趣旨

主が惚れ込むのも実に頷ける、というよりもむしろ訪れる人々がほんとに羨ましくなるほど心が癒される……四季を感じる風光明媚な地がこんなに身近にあるとは。

建物が風景に溶け込むともおこがましくて言えない、自然美の崇高さ。いつからか私自身、風景に建物を鼓舞する振る舞いをしていなかっただろうか！？

自分自身の住宅創りに一石を投ずる出会いとなった住まいである。



- ★建物名称 akiki戸建マンション タノジ
- ★建築場所 大分市羽田
- ★設計者 ラッツ・アーキテクト (株)
- ★施工者 (有)羽田エンタープライズ
- ★構造・規模 木造在来工法 2階建て
- ★床面積 (フレーム・キューブ) 71.99㎡
(フレーム・チューブ) 75.98㎡
- ★用途等 賃貸住宅
- ★竣工 平成20年8月
- ★撮影者 ピーハウス 是本 信高



★設計主旨

設計事務所、建設会社、管理会社がコラボレートした戸建マンション企画である。高層化するマンション建築を低層化し、マンション管理方式を取り入れた、新しい業態である。そのシステムは、akiki戸建マンションという名称で特許を得ている。

賃貸住宅事業を戸建化する事で、建設後における土地の利用価値（分筆販売など）が高まる。良質な建築デザインや優れた管理システムなどにより、資産運用性が向上する事になる。また、低層化される事で、町として良好なコミュニティを生み、町の空洞化を防ぐ事になると考えている。永く愛される町となる事を期待している。

グッドデザイン賞2008に2部門ノミネート（住宅部門、まちづくり部門）されている。780～985万円/棟という、ローコスト化もされており、事業性が高い。木造による賃貸住宅の供給は、環境問題、少子化、地方産業の活性化など、総合的に社会貢献度が高いと考えている。

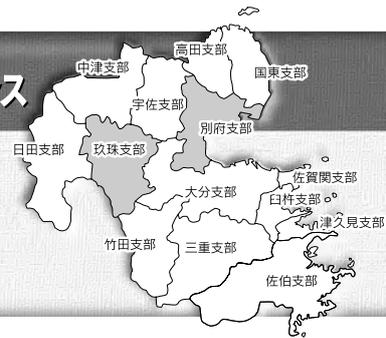


PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

会員紹介

(掲載については順不同です)



- ★生年月日 昭和53年1月2日
- ★勤務先 (有)尾方設計
- ★趣味 海釣り

★将来の夢、モットー等

この度、建築士会玖珠支部に入会させていただきました中西と申します。設計業界に入り9年が経ちました。

これまで色々な物件に携わってきましたが、各物件ごとにお客様のこだわりや、夢がありそれを一つ一つ理解し、形にしてクリアしていく事は大変です。

しかし自分の技術、センスでその夢を現実にし、お客様の笑顔を見たときは、とてもやりがいを感じます。

建築士会に入会したのを機に、初心に戻り先輩方に色々教わり又刺激も受けながら、スキルアップ出来れば良いと思っています。

いつでも、ゆとりのある良い仕事が出来よう心がけてがんばっていきます。

よろしくお願い致します。



中西 佳一 (玖珠支部)

- ★生年月日 昭和56年4月9日
- ★勤務先 別府市建築部建築住宅課
- ★趣味 サッカー

★将来の夢、モットー等

この度、建築士会に入会致しました、別府市建築部建築住宅課の山本です。住宅整備係として、市営住宅の修繕を主に担当しています。初めに市営住宅を案内してもらったのですが、そのときに市内にこれほど多く建っていたことを知り、驚きました。

日々の業務の中で住んでいる方からの苦情・問い合わせも多く、またその内容も様々あって驚かされることがほとんどです。ただ今後、建築に関わっていくなかで、住む人の目線や使いやすさ・メンテナンスなどの基本的な考えや目線を肌で感じながら取り入れていける、いい機会だと考えています。

どうぞよろしくお願い致します。



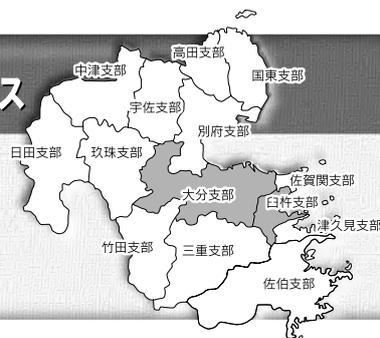
山本健太郎 (別府支部)

PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

会員紹介

(掲載については順不同です)



- ★生年月日 昭和57年5月3日
- ★勤務先 大分市土木建築部住宅課
- ★趣味 野球、映画鑑賞

★将来の夢、モットー等

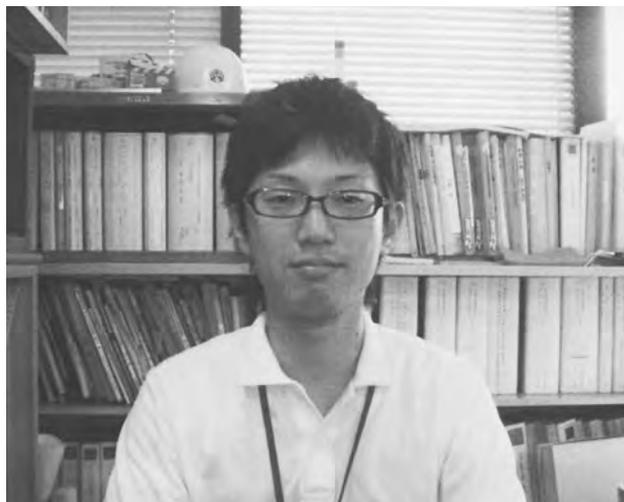
初めまして、大分市役所土木建築部住宅課の藤澤と申します。昨年4月に大分市役所に勤め始め、先輩方に勧められて建築士会大分支部に入会しました。

私の当面の目標は建築士資格の合格です。

一生懸命勉強し、早く資格を取れるように頑張っていきます。

大分市職員としても、建築を志す者としても、まだまだ修行中の身ですが、正しい知識とモラルを備え、建築を通して、より良いまちづくりの力になれるように頑張っていきたいと思っています。

宜しくお願い致します。



藤澤 隆介 (大分支部)

- ★生年月日 昭和52年12月7日
- ★勤務先 梅田建築
- ★趣味 パチンコ・野球

★将来の夢、モットー等

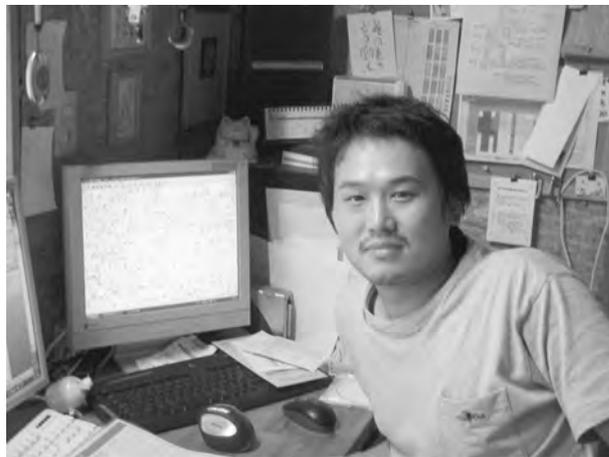
建築士会に入会しまして、1年経ちました。

仕事柄なかなか参加できませんが、去年、九州ブロック建築士研究集会「建築士の集い」大分大会に参加しました。

第2分科会で皆様に白杵の町並みを見ていただき、いろんな人達と話ができていへん勉強になりました。わたしは、旧真光寺で苔玉を販売させていただきました。

これからは、士会活動に積極的に参加していきたいと思います。

3支部ソフトにも……



梅田 雄也 (白杵支部)

行政だより

大分県 建築住宅課



改正建築士法に基づく新しい建築士制度について

平成18年12月28日に公布された建築士法等の一部を改正する法律により、本年11月28日より新しい建築士制度がスタートします。

建築士制度が以下の点を中心に大幅に見直されますので、ご注意ください。

◆新たに義務づけられる事項

(平成20年11月28日～)

1. 設計・工事監理契約の際の重要事項の説明

設計・工事監理契約の締結時に、管理建築士又はその他の建築士が、建築主に対し、書面を交付して重要事項(作成する設計図書の種類、工事監理に際しての工事と設計図書との照合方法等)の説明を行うことが必要になります。

2. 再委託の制限

委託者が許諾した場合であっても、建築士事務所以外への設計・工事監理の再委託が禁止されます。

加えて、3階建て以上、かつ、1,000㎡以上の共同住宅については、委託者が許諾した場合であっても、他の建築士事務所への設計・工事監理の一括再委託(いわゆる丸投げ)が禁止されます。

3. 定期講習の受講

建築士事務所に所属する建築士は3年ごとに定期講習を受講することが必要になります。

※定期講習は、国土交通大臣の登録を受けた機関が行います。

※法施行(本年11月28日)時点で建築士事務所に所属している建築士は、初回は平成24年3月31日までに、その後は3年ごとに受講する必要があります。

※一級建築士は一級建築士定期講習、二級建築士は二級建築士定期講習、木造建築士は木造建築士定期講習をそれぞれ受講する必要があります。ただし、複数の建築士資格を持っている方は、より上位の資格の講習(二級建築士の場合は一級建築士定期講習、木造建築士の場合は一級建築士定期講習又は二級建築士定期講習)を受講している場合には、重ねて講習を受講する必要はありません。

4. 管理建築士の要件強化

建築士事務所の管理建築士となるためには、建築士として3年以上の業務に従事した後、管理建築士講習を受講することが必要となります。

※管理建築士講習は、国土交通大臣の登録を受けた機関が行います。

※法施行(本年11月28日)時点で既に建築士事務所の管理建築士である方は、平成23年11月27日までに、業務要件を満たし、管理建築士講習を受講していただく必要があります。

※業務としては、建築士事務所開設が必要となる業務(設計・工事監理・建築工事の指導監督、建築物に関する調査若しくは鑑定等)が認められます。

◆新たに義務づけられる事項

(平成20年5月27日～)

1. 一定の建築物の構造設計/設備設計に係る法適合確認

平成21年5月27日以降は、高度な専門能力を必要とする一定の建築物の構造設計/設備設計に関し、構造設計一級建築士/設備設計一級建築士の関与(自ら設計する、または法適合確認を行う)が必要になります。

※一定の建築物とは以下の建築物のことで、

○構造設計の場合

高度な構造計算(保有水平耐力計算、限界耐力計算等)が義務づけられる建築物(RC造高さ20m超、S造4階建て以上、木造高さ13m超又は軒高9m超 等)

○設備設計の場合

3階建て以上、かつ、床面積5,000㎡超の建築物

※構造設計一級建築士/設備設計一級建築士とは、一級建築士として5年以上構造設計/設備設計に従事した後、講習(構造設計/設備設計や法適合確認に関する講義・修了考査)を修了した者のことです。

※構造設計一級建築士/設備設計一級建築士が関与していない場合は、建築確認申請書は受理されません。但し、平成21年5月26日以前に設計が行われた建築物の計画については、平成21年5月27日から半年間は、経過措置として受理される予定です。

<関連事項>

1. 業務報酬基準の見直し等

設計・工事監理等における標準的な業務量を定めた業務報酬基準(告示1206号)が見直されます。また、工事監理業務に関し、具体的な照合方法の詳細等について定めたマニュアル(ガイドライン)が策定されます。

2. 携帯用免許証の交付

一級建築士免許証がICチップ入りの携帯可能なものへと変更されます。

平成20年度 通常総会報告

5月28日(水)13時30分より、大分文化会館において平成20年度通常総会が開催され、平成19年度事業報告・収支決算報告、平成20年度事業計画・収支予算が満場一致で可決されましたので、以下のとおりご報告いたします。

1. 平成19年度事業報告書 (略)

2. 平成19年度収支決算書

◎収支決算書

自：平成19年4月1日 至：平成20年3月31日

(1) 収入の部 (単位：円)

勘定科目	予算額	決算額
会費収入	18,155,800	16,521,000
事業収入	5,068,100	6,794,260
補助金交付金収入	1,040,000	2,440,000
雑収入	30,000	806,025
積立預金取崩収入	2,000,000	2,000,000
繰越金	398,923	398,923
収入合計(A)	26,692,823	28,960,208

(2) 支出の部 (単位：円)

勘定科目	予算額	決算額
管理費	6,315,000	5,961,567
事業費	18,377,823	20,507,535
予備費	2,000,000	187,565
支出合計(B)	26,692,823	26,656,667
次期繰越収支差額(A-B)		2,303,541

◎貸借対照表 (略)

◎財産目標

平成20年3月31日現在

(1) 資産の部

1. 流動資産		46,148,800
普通預金	大分銀行	8,445,576
普通預金	大分銀行	1,058,463
現金		6,481
定期預金	中央三井信託銀行	10,000,000
定期預金	みらい信用金庫	8,406,666
定期預金	豊和銀行	8,000,000
未収入金	女性建築士による県産木造住宅建設支援事業	899,850
未収入金	住宅市場整備等推進事業	740,000
立替金	構造技術センター	8,591,764
2. 固定資産		1,320,000
敷金	田原ビル	600,000
	アネックス大手町	720,000
資産合計(C)		47,468,800

(2) 負債の部

I 流動負債		2,124,517
預り金	大分支部敷金	120,000
	労働保険料等	202,666
	所得税	608,291
未払金		1,193,560
II 固定負債		41,830
災害引当金		41,830
負債合計(F)		2,166,347
正味財産(G)=(C)-(F)		45,302,453

◎剰余金処分

本年度剰余金 2,303,541円

これを次のように処分する。

次年度繰越金 2,303,541円

以下のとおりである。

平成20年5月28日

社団法人 大分建築士会

会長 芳山 憲祐

3. 監査報告書

平成19年度決算書(収支計算書・貸借対照表・財産目標)及び会計諸帳簿、関係書類等の監査を実施致しましたが、正確かつ適正であることを認めます。

平成20年4月21日

監事 道吉 栄一

監事 豊島 範幸

監事 稲葉 孝博

4. 平成20年度事業計画

1. 社会的活動

(1) おおいた地域貢献・まちづくり活動センターにより地域貢献・まちづくり活動の活性化に寄与

(2) 応急危険度判定業務のネットワーク構築

(3) 「建築士の日」の事業実施

2. 教育活動

- (1) 専攻建築士制度・継続能力開発制度の推進
- (2) 「すべての建築士のための特別総合研修」(旧指定講習会)の実施
- (3) 建築基準法及び関係法令等の講習会の実施
- (4) 研修会、研究集会の実施
- (5) 県産木造住宅建設支援事業の実施
- (6) 全国大会への参加
10月25日(土) 徳島県徳島市
- (7) 九州ブロック主催の講習会、研修会への参加

3. 組織の強化と活性化

- (1) 会員の増強
- (2) 財政強化
- (3) 青年、女性建築士活動の推進
 - ・全国青年委員長会議、全国女性建築士連絡協議会への参加
 - ・「建築士の集い」沖縄大会への参加
6月28日(土) 沖縄県名護市
 - ・「パッション IN 長崎」への参加
2月7日(土) 長崎市
 - ・サマーセミナーの実施

4. 建築行政及び関係団体への協力

- (1) 大分県建築物総合防災推進協議会への参加
- (2) 違反建築物防止週間及び建築物防災週間への協力
- (3) 大分県木造住宅等推進協議会への協力
- (4) その他行政関連団体への協力

5. 受託事業

- (1) 一級、二級、木造建築士試験業務
- (2) 昇降機等定期検査報告業務
- (3) 構造計算適合性審査受託業務
- (4) 登録・閲覧事務・定期講習

- (5) その他、建築・まちづくり等に関する受託業務

6. 広報・福利厚生業務

- (1) 「建築士おおいた」の発行及び連合会発行の「建築士」の配布
- (2) ホームページの充実
- (3) IT活用によるネットワークづくりの推進
- (4) 図書を紹介及び斡旋
- (5) グループ保険の普及及び加入促進
- (6) その他、会員の福利厚生に関すること

5. 平成20年度収支予算書

自：平成20年4月1日

至：平成21年3月31日

(1) 収入の部

勘定科目	前年度決算額	本年度予算額
会費収入	16,521,000	17,201,400
事業収入	6,794,260	5,165,200
補助金交付金収入	2,440,000	300,000
雑収入	806,025	30,000
積立預金取崩収入	2,000,000	1,000,000
繰越金	398,923	2,303,541
収入合計(A)	28,960,208	26,000,141

(2) 支出の部

勘定科目	前年度決算額	本年度予算額
管理費	5,961,567	7,315,000
事業費	20,507,535	17,685,141
予備費	187,565	1,000,000
支出合計(B)	26,656,667	26,000,141

6. 平成20年度新役員名簿

次ページに掲載

**編集委員会では
みなさんの投稿を待っています。**

絵・スケッチ・CG・詩・短歌・俳句・随想なんでも結構です。あなたの知られざる才や技を御披露いただきたいのです。

各支部の編集委員までおとどけください。本部に直接送ってくださってもかまいません。よろしくお願い致します。

平成20年度 新役員名簿

役 職	所 属 支 部	氏 名	備 考
会長	大分	芳 山 憲 祐	
副会長	大分	井 上 正 文	
〃	〃	沖 本 進	
〃	日田	養 父 信 義	
〃	臼杵	三重野 元 良	
常務理事	大分	石 井 鏡 成	
〃	〃	末 成 祐 二	
〃	〃	大 塚 文 美	
理事	高田	清 末 幸 生	支部長
〃	国東	上 野 貢 一	支部長
〃	別府	幸 勝 美	支部長
〃	〃	浅 野 健 治	
〃	〃	河 村 靖	
〃	大分	亀 谷 芳 久	支部長
〃	〃	岐 部 和 久	
〃	〃	阿 部 文 昌	
〃	〃	中 村 友 一	
〃	〃	仲 摩 和 雄	
〃	〃	山 本 哲	
〃	〃	宮 崎 隆 博	
〃	〃	山 本 伸 二	
〃	〃	児 島 亨	
〃	〃	野 田 啓 司	
〃	〃	穴 井 輔 嘉	
〃	〃	長 野 保 幸	
〃	佐賀関	嵯 峨 雄 二	支部長
〃	臼杵	若 林 純 一	支部長
〃	〃	板 井 登 喜 雄	
〃	津久見	竹 田 光 徳	支部長
〃	佐伯	井 上 一 則	支部長
〃	〃	風 戸 彰	
〃	三重	岡 部 達 巳	支部長
〃	竹田	伊 東 政 博	支部長
〃	玖珠	須 賀 文 広	支部長
〃	日田	藤 原 秀 樹	支部長
〃	〃	日 高 淳 一	
〃	中津	三 雲 金 吉	支部長
〃	〃	富 部 直	
〃	〃	中 尾 忠 廣	
〃	宇佐	身 深 文 廣	支部長
〃	〃	椀 田 康 一	
監事	大分	道 吉 栄 一	
〃	大分	豊 島 範 幸	
〃	大分	稲 葉 孝 博	
女性部会長	大分	阿 南 春 美	



事務局だより

【会議等報告】

■第1回三役会

日時 平成20年4月15日
 場所 構造技術センター
 出席 8名
 議題 1) 19年度収支について
 2) 20年度予算について

■会計監査

日時 平成20年4月21日
 場所 事務局
 出席 監事・役員4名、事務局3名

■第2回三役会

日時 平成20年4月25日
 場所 構造技術センター
 出席 8名
 議題 1) 19年度収支について
 2) 20年度予算について
 3) 理事会・総会について

■第1回理事会

日時 平成20年5月9日
 場所 コンパルホール
 出席 理事28名、監事1名、女性部会長1名
 議題 1) 19年度事業報告及び収支決算報告
 2) 20年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
 3) 役員改選について

■第1回青年部長・副部長会議

日時 平成20年5月17日
 場所 鶴崎市民行政センター 第1会議室
 出席 青年部役員 15名
 議題 1) 女性部との共同事業(大分県委託事業)について
 2) 防災対策協議会の事業
 応急危険度判定士のための実地訓練と、
 コーディネーター養成講習会を開催
 3) 20年度アクションプランの作成
 4) 役員改選について

■第20年度第1回女性部役員会(総会)

日時 平成20年5月24日
 場所 事務局
 出席 6名
 議題 1) 19年度事業報告
 2) 20年度事業計画について
 3) 全国女性建築士連絡協議会参加について

■第20年度青年部通常総会

日時 平成20年5月28日
 場所 大分文化会館 第1小ホール
 出席 9名
 議題 1) 19年度事業報告
 2) 20年度事業計画(案)・収支予算(案)について
 3) 20年度アクションプラン
 4) 第22回サマーセミナーについて

■平成20年度通常総会

日時 平成20年5月28日
 場所 大分文化会館 第1小ホール
 出席 出席者65名、委任状389名 計454名

■評議員会

日時 平成20年5月28日

場所 大分文化会館 第2会議室
 出席 42名
 議題 役員(理事・監事)の選任について

■第2回理事会

日時 平成20年5月28日
 場所 大分文化会館 第2会議室
 出席 32名
 議題 役員(三役)の選任について

■第3回三役会

日時 平成20年6月6日
 場所 構造技術センター
 出席 8名
 議題 1) 20年度第3回理事会について
 2) 建築構造技術センターの状況について 他

■第3回理事会

日時 平成20年6月23日
 場所 大分リーガルホテル
 出席 理事34名、監事1名
 議題 1) 委員会・特別委員会委員の選任について
 2) 顧問・相談役の委嘱について
 3) 青年部会・女性部会 新役員紹介
 4) その他

【委員会報告】

■昇降機等連絡協議会 会長・副会長会議

日時 平成20年6月3日
 場所 事務局
 出席 2名
 議題 定期検査業務基準書講習会の開催について

■昇降機等連絡協議会 県内関係者連絡会議

日時 平成20年6月14日
 場所 セントレジャー城島高原ホテル
 出席 10名
 議題 1) 19年度事業報告・収支決算報告
 2) 監査報告
 3) 20年度事業計画(案)・収支予算(案)について
 4) 役員改選
 5) その他

■第1回おおいた地域貢献・まちづくり活動センター委員会

日時 平成20年6月24日
 場所 事務局
 出席 5名
 議題 1) 委員長・副委員長の選任について
 2) 助成対象事業について

■第1回総務担当三役検討会

日時 平成20年7月7日
 場所 事務局
 出席 3名
 議題 建築士法改正に伴う諸手続きの委託事務について

■第1回事業委員会

日時 平成18年7月10日
 場所 事務局
 出席 委員10名
 議題 1) 委員長・副委員長の選任について
 2) 20年度事業について

■第1回広報委員会

日時 平成20年7月11日
 場所 事務局
 出席 委員10名
 議題 1) 委員長・副委員長の選任について
 2) 20年度事業について

■第1回総務委員会

日時 平成20年7月14日
 場所 構造技術センター
 出席 委員10名
 議題 1) 委員長・副委員長の選任について
 2) 20年度事業について

■第1回広報・編集合同委員会
日時 平成20年7月23日
場所 コンパルホール
出席 広報委員 5名、編集委員 13名
議題 1) 編集委員長・副委員長の選任について
2) 会報「建築士おおいた」の発行について

■第1回調査研究委員会
日時 平成20年7月24日
場所 事務局
出席 11名
議題 1) 委員長・副委員長の選任について
2) 20年度事業について

■事業委員打ち合わせ
日時 平成20年7月25日
場所 事務局
出席 5名
議題 「建築士の日」の事業について

■編集作業(建築士おおいた103号)
日時 平成20年8月6日
場所 事務局
出席 6名

■編集作業(建築士おおいた103号)
日時 平成20年8月20日
場所 事務局
出席 6名

【建築士会連合会関係】

■第441回定例理事会・士会長合同会議
日時 平成20年5月30日
場所 東京都
出席 芳山会長
議題 1) 平成19年度事業報告、補正予算及び収支決算について
2) 平成20年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
3) 定款改正について
4) 任期満了による役員の変更について
5) 第52回建築士全国大会(山形大会)について 他

■全国女性建築士連絡協議会
日時 平成20年7月18日～19日
場所 東京都
出席 阿南女性部会長、中道副部会長 他 3名
概要 基調講演、パネルディスカッション

【九州ブロック会関係】

■第1回青年建築士協議会及び女性建築士協議会役員会
日時 平成20年4月12日
場所 名護市
出席 後藤青年部会長、岐部青年部幹事、中道女性部幹事
議題 1) パッションin鹿児島大会の収支報告
2) 「建築士の集い」熊本大会の進捗状況について
3) パッションin福岡大会の進捗状況について
4) 今後の大会運営方法について
5) 今後の役員会(運営委員会)の進め方について

■九州ブロック会総会
日時 平成20年5月19日
場所 鹿児島市
出席 芳山会長、幸事務局長
議題 1) 19年度事業報告及び収支決算について
2) 20年度事業計画及び収支予算について
3) 各県提出議題 他

■第1回青年建築士協議会及び女性建築士協議会運営委員会
日時 平成20年6月28日
場所 名護市民会館 中ホール
出席 後藤青年部相談役、岐部青年部会長、阿南女性部会長、矢羽田女性部幹事

議題 1) 「建築士の集い」沖縄大会の運営について
2) パッションin長崎大会の進捗状況について
3) 「建築士の集い」鹿児島大会の進捗状況について
4) 開催地ローテーション組み替えについて

■九州ブロック建築士研究集会
「建築士の集い」沖縄大会inやんばる
日時 平成20年6月28日
場所 名護市「名護市民会館」
参加 24名

【建築士試験関係】

■二級・木造建築士試験受験申込受付
インターネット受付 4月1日～7日
〈二級〉学科 32名、製図 7名
〈木造〉学科 0名、製図 0名
4月14日～18日 於：事務局 審査員 10名
〈二級〉学科 259名、製図 18名
〈木造〉学科 0名、製図 0名

■一級建築士試験受験申込受付
インターネット受付 4月21日～30日
学科 110名、製図 8名
5月12日～16日 於：事務局 審査員 10名
学科 267名、製図 7名

■二級建築士学科試験
試験日 7月6日
会場 大分大学(巨野原キャンパス)
実受験者数 226名
監理員 13名、補助員 4名

■一級・木造建築士学科試験
試験日 7月27日
会場 大分大学(巨野原キャンパス)
実受験者数 308名
監理員 14名、補助員 3名

【その他会議等】

■第1回建築確認円滑化対策連絡協議会
日時 平成20年5月16日
場所 大分県共同庁舎13階入札室
出席 幸事務局長
議題 1) 全体計画認定に係るガイドラインの一部改正について
2) 増築に関する既設建築物の図書省略について
3) その他

■大分県屋根工事業共同組合との交流会
日時 平成20年7月9日
場所 大分第一ホテル
出席 芳山会長、事業委員、調査研究委員
議題 業界の状況についての意見交換

■新公益法人制度に関する説明会
日時 平成20年7月23日
場所 大分文化会館 大ホール
出席 芳山会長、沖本副会長、山本総務委員長
内容 新公益法人制度について
1) 公益法人制度改革の概要について
2) 新制度への移行申請等について 他

■第1回農林水産祭林業部門運営委員会
日時 平成20年8月7日
場所 大分県庁舎8階会議室
出席 芳山会長
議題 1) 農林水産祭の全体運営等について
2) 農林水産祭(第31回木と暮らしのフェア)実施計画(案)について
3) その他

新 会 員 紹 介

(H.20年4月～8月入会)

支 部	氏 名	勤 務 先 (所在地)	電 話
別府	今池 隆則	長幸建設(株)：別府市大字鶴見949番地39	(0977)27-6556
別府	須藤 祐未	別府市役所：別府市上野口町1番15号	(0977)21-1111
別府	山本健太郎	別府市役所：別府市上野口町1番15号	(0977)21-1111
別府	林 勲	(株)林興産アイズホーム：別府市石垣東3-6-12	(0977)22-3884
大分	安東 佑剛	大分市役所：大分市荷揚町2番31号	(097)534-6111
大分	後藤 靖之	大分市役所：大分市荷揚町2番31号	(097)534-6111
大分	後藤 佳織	大分市役所：大分市荷揚町2番31号	(097)534-6111
大分	川野 裕二	大分市役所：大分市荷揚町2番31号	(097)534-6111
大分	奥村亜紀子	奥村建築設計事務所：大分市横塚1-14-17	(097)592-8580
大分	岡部 浩志	九州電力(株)大分支店土木建築G：大分市金池南2-3-4	(097)537-8020
大分	木本 勅	K2構造設計(株)：大分市大道町6-3	(097)545-1835
大分	仲井 秀史	エヌ・プラン：大分市豊町1-2-3	(097)532-3966
大分	長野 利治	(株)日建：大分市羽屋56-6	(097)543-4180
大分	元松 直也	(株)松井設計：大分市花津留2-15-24	(097)552-6311
大分	橋田 素子	マ・メゾン：大分市萩原2-1-5-104	(097)551-4106
大分	三浦 亨	(有)アヴニール設計：大分市今津留1-10-5	(097)556-6780
大分	廣井 孝信	国東土木事務所：国東市国東町安国寺786-1	(0978)72-1321
臼杵	長谷川浩延	臼杵土木事務所：臼杵市大字臼杵字州崎72-254	(0972)63-4136
佐伯	藤田 利恵	(有)旭豊土地開発：佐伯市大字鶴望2762-1	(0972)20-0082
三重	坂本 肇	高野建設一級建築士事務所：豊後大野市三重町赤嶺1922-1-2F	(0974)22-6048
三重	内田 武士	恵藤建設(株)：豊後大野市千歳町長峰1579-1	(0974)37-2135
三重	相野 晴芳	恵藤建設(株)：豊後大野市千歳町長峰1579-1	(0974)37-2135
三重	中畑 啓太	恵藤建設(株)：豊後大野市千歳町長峰1579-1	(0974)37-2135
三重	原田 博	恵藤建設(株)：豊後大野市千歳町長峰1579-1	(0974)37-2135
日田	岩田 雅治	総合技術開発(株)：東京都港区西新橋2-34-7-3F	(03)5470-9740
日田	河津 龍市	bauhaus設計事務所：日田市元町18-17	(0973)22-6470
玖珠	中西 佳一	(有)尾方設計：玖珠町大字帆足299-11	(0973)72-2662

編集委員となり、4年目を迎えました。
 今回号の編集作業は、人数も多く、
 皆さんと楽しく、中身の濃い作業が
 出来ました。お疲様でした。A.T

。久しぶりの編集作業でした。
 年を重ねることに根気がなく
 なる自分へ気付かされたよ
 K.K



前年につづいて編集委員となり
 しました。しかも今回は、副委員
 だった人役が多くなっています。
 か、やむ時はやらないといかん
 ぞうかい。 K.K.

皆様が興味く読んで頂ければ
 それで良し。M.O

ほとんど手伝わずに
 終わってしまいました。
 みなさますみません。I.S

初の編集委員で右も左も
 わからない状態でしたか
 なんせか「がんばり」ました！
 River

広報委員

担当副会長	〈臼杵〉	三重野	元良
委員長	〈大分〉	宮崎	隆博
副委員長	〈大分〉	中園	幸治
委員	〈大分〉	亀谷	芳久
	〈大分〉	都瑠	淳一
	〈国東〉	上野	貢一
	〈別府〉	河村	靖
	〈臼杵〉	板井	登喜雄
	〈三重〉	岡部	達巳
	〈玖珠〉	須賀	文広
	〈日田〉	日高	淳一
	〈中津〉	中尾	忠廣

編集委員

委員長	〈高田〉	後藤	憲二
副委員長	〈大分〉	岐部	和久
	〈宇佐〉	渡辺	賢一
	〈臼杵〉	赤嶺	竜一
委員	〈国東〉	野田	忠博
	〈別府〉	工藤	圭介
	〈大分〉	伊東	幸子
	〈大分〉	川野	祥
	〈大分〉	太田	将弘
	〈大分〉	高山	鮎美
	〈佐賀関〉	川口	尚文
	〈津久見〉	大村	正壽
	〈佐伯〉	寺前	嘉二
	〈佐伯〉	中田	智佐美
	〈三重〉	後藤	康仁
	〈竹田〉	志賀	勝吉
	〈玖珠〉	白地	泰憲
	〈日田〉	櫻木	弘三郎
	〈中津〉	山村	増治

建築士大分

2008. 9 No. 103

(非売品)

平成20年 8月30日 印刷

平成20年 9月1日 発行

編集／発行所

社団法人

大分県建築士会

〒870-0022

大分市大手町2丁目2-7田原ビル2F

TEL 097-532-6607

FAX 097-532-6635

士 楽 豊

お・は・た・め

本・支部名	〒	事務局所在地	TEL
高 田	879-0605	豊後高田市御玉199	0978-24-0418
国 東	873-0503	国東市国東町安国寺718	0978-72-2887
別 府	874-0845	別府市大字鶴見字角田3220-3 別府建築士事務所会館	0977-67-4488
本部・大分	870-0022	大分市大手町2-2-7 田原ビル2F	097-532-6607
佐賀関	879-2201	大分市大字佐賀関3068 高島建設(株)内	097-575-0116
臼 杵	875-0082	臼杵市稲田中尾下1000-1 (有)みえのブロック内	0972-63-6695
津久見	879-2445	津久見市井無田町3-9 津久見建設(株)内	0972-82-5291
佐 伯	876-0813	佐伯市長島町1-3-11	0972-23-6099
三 重	879-7131	豊後大野市三重町市場2区	0974-22-6606
竹 田	878-0026	竹田市大字飛田川1618-6	0974-62-3711
玖 珠	879-4412	玖珠郡玖珠町大字山田291-2 サンホーム(株)内	0973-72-0023
日 田	877-0025	日田市田島1-7-43-1F 102 (有)藤原設計内	0973-24-6022
中 津	871-0024	中津市中央町1-5-24 中津建築会館	0979-24-3597
宇 佐	879-0454	宇佐市大字法鏡寺290-1 服部第3ビル102号	0978-33-3395
本 部	http://www.oita-shikai.or.jp/		
高 田 支 部	http://www2.ocn.ne.jp/~o-takada/		
国 東 支 部	http://www18.ocn.ne.jp/~ksikai/		
別 府 支 部	http://www.beppu-yukemuri.com		
大 分 支 部	http://homepage2.nifty.com/k-shikai-oita/oitasibu/		
佐 賀 関 支 部	http://www.d-b.ne.jp/sekisibu/		
臼 杵 支 部	http://www.bungo.or.jp/usk_shikai/syoukai.htm		
津 久 見 支 部	http://www.bungo.or.jp/t-shikai/		
佐 伯 支 部	http://www.geocities.jp/o_s_kentikusi/		
三 重 支 部	http://www16.plala.or.jp/sok-mie/		
竹 田 支 部	http://ww61.tiki.ne.jp/~kentikusi-ta/index.htm		
玖 珠 支 部	http://homepage3.nifty.com/ken-kusu/		
日 田 支 部	http://www.d-b.ne.jp/ken-hita/index.htm		
中 津 支 部	http://kentikusi-nakatu.net/		
宇 佐 支 部	http://www.d-b.ne.jp/usasikai/		

会員増強にご協力を！

～会員二人で、一人の入会勧誘を～
目標3,000人突破



社団法人 大分県建築士会